

多市議第217号
平成29年3月30日

多久市長 横尾 俊彦 様

多久市議会 議長 山本 茂雄

わがまち創生特別委員会 委員長 國信 好永

子育て支援策に関する提言について

わがまち創生特別委員会では、自然動態による人口減少を抑え、社会動態による人口増に繋がる施策を調査・検討してきました。

平成27年7月14日に第1回目の委員会を開催し、これまで14回に亘り委員会を開催し、協議を続けてきました。

これまで若年層を対象に、子育て環境づくりなどの施策に絞って協議をする方針を決定し、その後、多久市保育協議会や幼児期の生活習慣について長年研究されている専門家と子育て支援策について意見交換会を実施し、協議・検討をすすめてきました。

つきましては、これまでの委員会での議論を踏まえ、別紙のとおり提言書を提出しますので、多久市の子育て支援策の充実・強化に向けた取り組みとして、ご検討いただきますよう要望します。

多市議第217号
平成29年3月30日

多久市教育長 田原 優子 様

多久市議会 議長 山本 茂雄

わがまち創生特別委員会 委員長 國信 好永

子育て支援策に関する提言について

わがまち創生特別委員会では、自然動態による人口減少を抑え、社会動態による人口増に繋がる施策を調査・検討してきました。

平成27年7月14日に第1回目の委員会を開催し、これまで14回に亘り委員会を開催し、協議を続けてきました。

これまで若年層を対象に、子育て環境づくりなどの施策に絞って協議をする方針を決定し、その後、多久市保育協議会や幼児期の生活習慣について長年研究されている専門家と子育て支援策について意見交換会を実施し、協議・検討をすすめてきました。

つきましては、これまでの委員会での議論を踏まえ、別紙のとおり提言書を提出しますので、多久市の子育て支援策の充実・強化に向けた取り組みとして、ご検討いただきますよう要望します。

(別紙)

子育て支援策に関する提言

我が国における急速な少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う人材確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創出を一体的に推進するため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が公布・施行されました。

多久市では同法第10条の規定に基づき、まち・ひと・しごと創生に関する施策について、「多久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、これに基づき事業が進められています。

当市議会においても、自然動態による人口減少を抑え、社会動態による人口増に繋がる施策を調査・検討するため、本委員会を設置し、平成27年7月から14回に亘る委員会を開催し、総合政策課からは「多久市まち・ひと・しごと総合戦略」の説明や、総合戦略に基づく事業の進捗状況などの報告を受けながら議論を重ねてきました。

若い世代が定住し、子育てができ、子ども達が育っていく環境をつくるのがまちをつくることになることから、本委員会では、人口の流出に歯止めをかけるために、若年層を対象に子育て環境づくりなどの施策に絞った協議を行って来ました。

保育園は保護者などから子育てに関する意見を聞く機会も多く、また長年保育業務にも関わられていることから、多久市保育協議会と子育て世代の支援策について意見交換を行いました。

協議会では独自の取組みとして足裏診断事業に取り組まれており、子ども達に土踏まずの改善指導を行われています。事業を始められて2年が経ちましたが、明らかに子供たちの足の形がよくなっており、体力も変わってきているのを感じられています。また、土踏まずは3歳から8歳ぐらいまでに作られるため、卒園した後の経過観察の必要性を述べられています。現在は、民間団体から事業費の助成を受けられていますが、助成なしに事業ができないため、今後の事業継続化に向けて検討されています。

足裏診断事業に関しては、専門家のご意見もお聞きしました。幼児期に足を健康にすることで体力の向上ができ、体力の向上により粘り強い子供が育ち、学力の向上にもつながるということでした。現在は保育園でしか行っていないので、できれば小学校まで続けることが望ましく、足裏診断のデータと体力測定のデータがあれば、子供の健康管理をすることが可能になるといわれています。

さらに教育委員会では、義務教育学校を始めるにあたり「知・徳・体」を基本施策に掲げており、体づくりの施策の一つとして「子供の健康を足の裏から守る」を多久市独自のユニークな取組みとして行えないかと委員会では結論を出しました。

利点としては、既に協議会が行っている事業であるため取り組みやすいこと、また保護

者の関心も高く、マスコミ等で取り上げてもらえる可能性もあり、PR効果が見込めるのではないかと考えられます。

以上のことから、多久市の子育て支援策の充実・強化に向けた取り組みとして、次の事項について提言いたします。

記

足裏診断事業について

子育て世代にとって、子どもの健康づくりは非常に関心の高いものとなっています。こうした事業を定住政策と連動させることにより、人口減少の抑制化に貢献できるものと思われま

す。現在、多久市保育協議会が取り組まれている足裏診断事業については、子供の健康づくりはもちろんのこと、体力づくりや学力向上にも貢献できるものと考えられます。他に類を見ないユニークな事業であり、子育てのまちとして多久をPRすれば定住にもつながるのではないかと考えま

す。そのためには、多久市保育協議会と教育委員会が連携し、小学校までこの事業を継承し、多久市の取り組みとして事業を行うことを検討していただきたい。